

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019
発行日 2026-6-05
版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Human IL-10 Quantikine HS ELISA Kit
製品コード	HS100C,SS100C, WAKO : 515-98531
コンポーネント	893857 Human IL-10 HS Microplate 893858 Anti-human IL-10 HS Conjugate 893859 Human IL-10 HS Standard 895003 Wash Buffer Concentrate 895032 Stop Solution (硫酸含有) 895168 Assay Diluent RD1-10 895188 Wash Buffer 10X Concentrate 895468 Calibrator Diluent RD6-10 895884 Substrate 895885 Substrate Diluent 895886 Amplifier 895887 Amplifier Diluent

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号 推奨用途 使用上の制限	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571 試験研究用 推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2～14章

各パーツのSDSを参照してください。

15. 適用法令

国内法規

消防法
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法

非該当
毒物 包装等級2
名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第5 7 条)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第5 7 条の2)
特定化学物質第3 類物質(特定化学物質障害予防規則第2 条第1 項第6 号)
皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)
第1 種指定化学物質(法第2 条第2 項、施行令第1 条別表第1)

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR法)
(令和5年4月1日より)
第1種-管理番号.
カルタヘナ法

408,595,626
該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) (令和5年4月1日より)

規制区分名	政令名称	(金属名)	管理番号	重量パーセント
第1 種指定化学物質	エチレンジアミン四酢酸 並びにそのカリウム塩及 びナトリウム塩		595	1-3
第1 種指定化学物質	ポリ(オキシエチレン)=アル キルフェニルエーテル (アルキル基の炭素数が8 のものに限る。)		408	=<1
第1 種指定化学物質	ジエタノールアミン		626	=<1

労働安全衛生法

規制区分名	政令名称	重量パーセント	施行予定日
名称等を通知すべき危険物及び有害物	アジ化ナトリウム	2.4	現行法

(法第57条の2)			
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)	二亜硫酸ナトリウム	3-5	現行法
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)	ポリ(オキシエチレン)=オクチル フェニルエーテル	<1	現行法
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)	硫酸	9.8	現行法
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)	エタノール	1-3	現行法
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)	ジエタノールアミン	=<1	現行法
名称等を通知すべき危険物及び有害物 (法第57条の2)	エチレングリコール	5-10	現行法

毒物及び劇物取締法

規制区分名	政令名称
毒物	アジ化ナトリウム及びこれを含有する製剤。ただし、アジ化ナトリウム0.1%以下を含有するものを除く。

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の実用を目的としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019
発行日 2026-6-05
版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Human IL-10 HS Microplate
製品コード	893857

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物質又は混合物の分類
GHS分類基準に該当しない。

絵表示
注意喚起語 なし

危険有害性情報
GHS分類基準に該当しない。

注意書き-(安全対策)
・非該当
注意書き-(応急措置)
・非該当
注意書き-(保管)
・非該当
注意書き-(廃棄)
・非該当

その他
ほかの危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物 成型品

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
非公開	30-40	N/A	N/A	N/A	N/A

安衛法官報公示番号について 表中の*は公表化学物質を表します。

成分特記事項: 本製品は、危険有害性がある化学物質を濃度1%以上含有していません。さらに、既知の発がん性物質等を濃度0.1%以上含有していません。

4. 応急措置

吸入した場合
新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合
すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い**技術的対策**

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件****安全な容器包装材料****混触禁止物質**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

メーカーから供給された容器

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。

保護具

呼吸器用保護具

防じんマスク (JIS T 8151)

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

性状

成型品

臭い

データなし

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

上限:

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタン/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性

データなし

化学的安定性

推奨保管条件下で安定。

危険有害反応可能性

通常の処理ではなし。

避けるべき条件

高温と直射日光

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

利用可能な情報はない

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
非公開	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
非公開	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
非公開	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
非公開	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
非公開	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
非公開	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
非公開	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
非公開	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
非公開	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
非公開	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
非公開	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

データなし

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
非公開	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性

利用可能な情報はない

生体蓄積性

利用可能な情報はない

土壌中の移動性

利用可能な情報はない

オゾン層への有害性

利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

規制されていない。

国連番号

-

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質

非該当

IMDG(海上)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない
IATA(航空)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規	
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
(令和5年4月1日より)	

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等	NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop IATA危険物規則書 RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報 有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック 化学大辞典 共立出版 等
------------------	---

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019
発行日 2026-6-05
版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Anti-human IL-10 HS Conjugate
製品コード	893858

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

呼吸器感作性

区分1

皮膚感作性

区分1

水生環境有害性(急性)

区分3

水生環境有害性(慢性)

区分3

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H402 - 水生生物に有害

H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き(安全対策)

- ・粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレートの吸入を避けること。
- ・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。
- ・汚染された作業衣は作業場から出してはいけません。
- ・保護手袋を着用すること。
- ・環境に放出しないこと。

注意書き(応急措置)

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。
- ・皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・吸入し、呼吸が困難な場合、患者を新鮮な空気のある場所に避難させ、呼吸が楽な姿勢で休息をさせること。
- ・呼吸器系の症状がある場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡をしてください。

注意書き(保管)

- ・非該当

注意書き(廃棄)

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
アルカリ性ホスファターゼ	1-3	N/A	N/A	N/A	9001-78-9
アジ化ナトリウム	=<0.1	65.00	(1)-482	*	26628-22-8
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	=<0.1	N/A	(5)-5235,(9)-378	*	55965-84-9
塩化亜鉛	=<0.1	136.31	(1)-264	*	7646-85-7

安衛法官報公示番号について

表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項:

危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

強酸化剤との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
アジ化ナトリウム 26628-22-8	N/A	N/A	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor
塩化亜鉛 7646-85-7	N/A	N/A	STEL: 2 mg/m ³ fume TWA: 1 mg/m ³ fume

保護具**呼吸器用保護具**

保護マスク

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態****色**

無色

性状

液体

臭い

データなし

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

99.97 °C

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度	データなし
pH	7.35 - 7.45
粘度(粘性率)	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール水分分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.01
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性	データなし
化学的安定性	推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	
通常の処理ではなし。	
避けるべき条件	
高温と直射日光	
混触危険物質	
強酸化剤	
危険有害な分解生成物	
利用可能な情報はない	

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	= 53 mg/kg (Rat)	= 87.12 mg/kg (Rabbit)	N/A
塩化亜鉛	= 1100 mg/kg (Rat)	N/A	<= 1975 mg/m ³ (Rat) 10 min

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

データなし

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
アルカリ 性ホスファターゼ	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。

2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。
塩化亜鉛	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壌中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
IMDG(海上)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない
IATA(航空)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	非該当
(令和5年4月1日より)	

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等	NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop IATA危険物規則書 RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
------------------	---

有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。 *JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019

発行日 2026-6-05

版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Human IL-10 HS Standard
製品コード	893859

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

急性毒性(経口)

区分4

急性毒性(経皮)

区分3

急性毒性-吸入(粉じん/ミスト)

区分4

呼吸器感作性

区分1

皮膚感作性

区分1

水生環境有害性(急性)

区分3

水生環境有害性(慢性)

区分3

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H302 - 飲み込むと有害

H311 - 皮膚に接触すると有毒

H332 - 吸入すると有害

H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H402 - 水生生物に有害

H413 - 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き(安全対策)

- ・取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。
- ・この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレーの吸入を避けること。
- ・室外もしくはよく換気された場所でのみ使用すること。
- ・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。
- ・汚染された作業衣は作業場から出してはいけません。
- ・環境に放出しないこと。

注意書き(応急措置)

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること。
- ・直ちに汚染されたすべての衣服を脱がせてください。

- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・呼吸器系の症状がある場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡をしてください。
- ・飲み込んだ後に、気分が悪い場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡してください。
- ・口をすすぐこと。

注意書き(保管)

- ・施錠して保管すること。

注意書き(廃棄)

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
ゲンタマイシン硫酸塩	1-3	N/A	(8)-457	*	1405-41-0
アジ化ナトリウム	2.4	65.00	(1)-482	*	26628-22-8

安衛法官報公示番号について 表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項:

危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置**吸入した場合**

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置**適切な消火剤**

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

強酸化剤との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
アジ化ナトリウム 26628-22-8	N/A	N/A	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

保護具**呼吸器用保護具**

防じんマスク (JIS T 8151)

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態****色**

白色

性状

粉末

臭い

無臭またはわずかに特異臭

融点／凝固点

801 °C

沸点又は初留点及び沸騰範囲

1465 °C

可燃性

引火性液体および、蒸気

蒸発速度

データなし

燃焼性 (固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

上限:	データなし
下限:	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタン/水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	2.13
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性	データなし
化学的安定性	推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	
通常の処理ではなし。	
避けるべき条件	
高温と直射日光	
混触危険物質	
強酸化剤	
危険有害な分解生成物	
利用可能な情報はない	

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ゲンタマイシン 硫酸塩	> 5 g/kg (Rat)	N/A	N/A

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
-----	----------

国連番号 -
品名
国連分類
副次危険性
容器等級
環境有害物質 非該当

15. 適用法令

国内法規

消防法 非該当
毒物及び劇物取締法 毒物(指定令第1条)
労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2)
皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則 非該当
航空法 非該当
化学物質排出把握管理促進法 非該当
(PRTR法)
(令和5年4月1日より)
カルタヘナ法 該当

化学名	毒物及び劇物取締法	労働安全衛生法 名称等通知物質 (法第57条の2) (発行日現在)	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)
アジ化ナトリウム 26628-22-8 (2.4)	該当	該当	-

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典(社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の実用を目的としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019
発行日 2026-6-05
版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Wash Buffer Concentrate
製品コード	895003

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物質又は混合物の分類
皮膚感作性

区分1

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き-(安全対策)

- ・ 粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレーの吸入を避けること。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出してはいけません。
- ・ 保護手袋を着用すること。

注意書き-(応急措置)

- ・ 皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。
- ・ 皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください。
- ・ 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き-(保管)

- ・ 非該当

注意書き-(廃棄)

- ・ 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
5-クロロ-2-メチル 3(2H)-イソチアゾール	<0.1	N/A	(5)-5235,(9)-378	*	55965-84-9

オンと2-メチル --3(2H)-イソチアゾール オンの混合物					
---------------------------------------	--	--	--	--	--

安衛法官報公示番号について

表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項:

危険有害性があると考えられるか、または報告可能レベル以上で存在する組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置**吸入した場合**

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置**適切な消火剤**

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。(融解時)乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

強酸化剤, 還元剤, アミン類

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。

保護具**呼吸器用保護具**

保護マスク

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態**性状**

凍結乾燥品 または 液体

臭い

データなし

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール水分分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

データなし

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性**反応性**

データなし

化学的安定性

推奨保管条件下で安定。

危険有害反応可能性

通常の処理ではなし。

避けるべき条件

高温と直射日光

混触危険物質

強酸化剤, 還元剤, アミン類

危険有害な分解生成物

一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素 (CO₂)

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	= 53 mg/kg (Rat)	= 87.12 mg/kg (Rabbit)	N/A

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル--3(2H)-イソチアゾールオンの混合物	製造者情報による。

12. 環境影響情報

13. 廃棄上の注意

14. 輸送上の注意

15. 適用法令

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019
発行日 2026-6-05
版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Stop Solution
製品コード	895032

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

皮膚腐食性／刺激性

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

発がん性

区分1

区分1

区分1A

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H318 - 重篤な眼の損傷

H350 - 発がんのおそれ

注意書き(安全対策)

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
- ・個人用保護具を着用すること。
- ・粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。

注意書き(応急措置)

- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ただちに医師に連絡すること。
- ・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

注意書き(保管)

- ・施錠して保管すること。

注意書き(廃棄)

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
硫酸	9.8	98.07	(1)-430	*	7664-93-9

安衛法官報公示番号について 表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項:

危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO2)、泡、粉末消火剤、砂

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い**技術的対策**

強塩基との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

塩基類, 還元剤

8. ばく 露防止及び保護措置**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近く に安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく 露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
硫酸 7664-93-9	Ceiling: 1 mg/m ³	N/A	TWA: 0.2 mg/m ³ thoracic particulate matter

保護具**呼吸器用保護具**

酸性ガス用防毒マスク (JIS T 8152)

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態****性状**

液体

臭い

データなし

融点／凝固点

10.31 °C

沸点又は初留点及び沸騰範囲

99.97 °C

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性 (固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

1

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタン/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.08

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性	データなし
化学的安定性	推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	
通常の処理ではなし。	
避けるべき条件	
高温と直射日光	
混触危険物質	
塩基類, 還元剤	
危険有害な分解生成物	
利用可能な情報はない	

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
硫酸	2140 mg/kg (Rat)	N/A	0.375 mg/L (Rat) 4 h

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
硫酸	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
硫酸	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
硫酸	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
硫酸	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
硫酸	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
硫酸	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
硫酸	製造者情報による。

化学名	NTP	IARC	米国産業衛生専門家会議(ACGIH)	日本産業衛生学会
硫酸 7664-93-9	Known	Group 1	A2	N/A

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
硫酸	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
硫酸	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
硫酸	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
硫酸	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

化学名	藻類/水生植物	魚	甲殻類
硫酸	N/A	LC50 : <i>Brachydanio rerio</i> >500 mg/L 96 h	N/A

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
硫酸	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壤中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

国連番号	UN2796
品名	硫酸
国連分類	8
副次危険性	
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当

IMDG(海上)

国連番号	UN2796
品名	硫酸
国連分類	8
副次危険性	
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない

IATA(航空)

国連番号	UN2796
品名	硫酸
国連分類	8
副次危険性	
容器等級	II
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) 特定化学物質第3 類物質(特定化学物質障害予防規則第2 条第1 項第6 号) 皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項) 腐食性物質(危規則第3 条危険物告示別表第1) 腐食性物質(施行規則第1 9 4 条危険物告示別表第1)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	
(令和5年4月1日より)	

化学名	毒物及び劇物取締法	労働安全衛生法 名称等通知物質 (法第57条の2) (発行日現在)	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)
硫酸 7664-93-9 (9.8)	-	該当	-

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019

発行日 2026-6-05

版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Assay Diluent RD1-10
製品コード	895168

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性
特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1

区分2

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H318 - 重篤な眼の損傷

H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

注意書き-(安全対策)

- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

注意書き-(応急措置)

- 気分が悪い場合、医師の治療を受けること。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ただちに医師に連絡すること。

注意書き-(保管)

- 非該当

注意書き-(廃棄)

- 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
-----	---------	-----	-----------	-----------	---------

二亜硫酸ナトリウム	3-5	190.10	N/A	(1)-502	7681-57-4
エデト 酸四ナトリウム二水塩	1-3	N/A	N/A	N/A	10378-23-1

安衛法官報公示番号について 表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項: 危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定さ

れた場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
二亜硫酸ナトリウム 7681-57-4	N/A	N/A	TWA: 5 mg/m ³

保護具**呼吸器用保護具**

保護マスク

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態**色**

無色

性状

液体

臭い

無臭またはわずかに特異臭

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

99.97 °C

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

7.1 - 7.3

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタノール水分分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.21

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性**反応性**

データなし

化学的安定性 推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性 通常の処理ではなし。
避けるべき条件 高温と直射日光
混触危険物質 強酸化剤
危険有害な分解生成物 利用可能な情報はない

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
二亜硫酸ナトリウム	= 1310 mg/kg (Rat)	> 2000 mg/kg (Rat)	N/A

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

化学名	NTP	IARC	米国産業衛生専門家会議(ACGIH)	日本産業衛生学会
二亜硫酸ナトリウム 7681-57-4	N/A	Group 3	N/A	N/A

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
-----	------------

二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

化学名	藻類/水生植物	魚	甲殻類
二亜硫酸ナトリウム	EC50: =48mg/L (72h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>) EC50: =40mg/L (96h, <i>Desmodesmus subspicatus</i>)	LC50: =32mg/L (96h, <i>Lepomis macrochirus</i>)	N/A

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
二亜硫酸ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。
エデト 酸四ナトリウム二水塩	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壌中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)	規制されていない。
国連番号	-
品名	-
国連分類	-
副次危険性	-
容器等級	-
海洋汚染物質	非該当
IMDG(海上)	規制されていない。
国連番号	-
品名	-
国連分類	-
副次危険性	-
容器等級	-
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない
IATA(航空)	規制されていない。
国連番号	-
品名	-
国連分類	-
副次危険性	-
容器等級	-
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規	
消防法	非該当

毒物及び劇物取締法 労働安全衛生法	非該当 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) 皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則 航空法	非該当 非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より) 第1種-管理番号.	第1 種指定化学物質(法第2 条第2 項、施行令第1 条別表第1) 595

化学名	毒物及び劇物取締法	労働安全衛生法 名称等通知物質 (法第57条の2) (発行日現在)	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)
二亜硫酸ナトリウム 7681-57-4 (3-5)	-	該当	-
エデト 酸四ナトリウム二水塩 10378-23-1 (1-3)	-	-	該当

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に 準拠しております。記載内容は通常取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する 情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019

発行日 2026-6-05

版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Wash Buffer 10X Concentrate
製品コード	895188

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

呼吸器感作性

区分1

皮膚感作性

区分1

水生環境有害性(急性)

区分2

水生環境有害性(慢性)

区分2

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H401 - 水生生物に毒性

H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き-(安全対策)

- ・粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレートの吸入を避けること。
- ・換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。
- ・汚染された作業衣は作業場から出してはいけません。
- ・保護手袋を着用すること。
- ・環境に放出しないこと。

注意書き-(応急措置)

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。
- ・皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- ・吸入し、呼吸が困難な場合、患者を新鮮な空気のある場所に避難させ、呼吸が楽な姿勢で休息をさせること。
- ・呼吸器系の症状がある場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡をしてください。
- ・漏出物を集めること。

注意書き-(保管)

- ・非該当

注意書き-(廃棄)

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
ゲンタマイシン硫酸塩	=<1	N/A	(8)-457	*	1405-41-0
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	=<1	427	(7)-172	*	9036-19-5
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	=<0.1	N/A	(5)-5235,(9)-378	*	55965-84-9

安衛法官報公示番号について

表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項:

危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

強酸化剤との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

個人用保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

この供給された製品は地域の特定取締機関によって発行された職業ばく露限界値のある有害危険物を含有していない。

保護具**呼吸器用保護具**

保護マスク

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態****色**

無色

性状

液体

臭い

無臭またはわずかに特異臭

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

99.97 °C

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

7.3 - 7.5

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタン/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度
相対ガス密度
粒子特性

1.11
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性
通常の処理ではなし。
避けるべき条件
高温と直射日光
混触危険物質
強酸化剤
危険有害な分解生成物
利用可能な情報はない

データなし
推奨保管条件下で安定。

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ゲンタマイシン硫酸塩	> 5 g/kg (Rat)	N/A	N/A
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	= 53 mg/kg (Rat)	= 87.12 mg/kg (Rabbit)	N/A

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
ゲンタマイシン硫酸塩	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入-毒性-ミスト)分類根拠
ゲンタマイシン硫酸塩	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
ゲンタマイシン硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
ゲンタマイシン硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
ゲンタマイシン硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チア	製造者情報による。

ゾール-3(2H)-オンの混合物	
------------------	--

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

データなし

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
ゲンタマイシン 硫酸塩	製造者情報による。	製造者情報による。
ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテル	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性

利用可能な情報はない

生体蓄積性

利用可能な情報はない

土壌中の移動性

利用可能な情報はない

オゾン層への有害性

利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

国連番号	UN3082
品名	環境有害性物質(液体)、n.o.s (4-(1,1,3,3-Tetramethylbutyl)phenyl-polyethylene glycol, reaction mass of 5-chloro-2-methyl-2H-isothiazol-3-one and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1))
国連分類	9
副次危険性	
容器等級	III
海洋汚染物質	該当

IMDG(海上)

国連番号	UN3082
品名	環境有害性物質(液体)、n.o.s (4-(1,1,3,3-Tetramethylbutyl)phenyl-polyethylene glycol, reaction mass of 5-chloro-2-methyl-2H-isothiazol-3-one and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1))
国連分類	9
副次危険性	
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない

IATA(航空)

国連番号	UN3082
品名	環境有害性物質(液体)、n.o.s (4-(1,1,3,3-Tetramethylbutyl)phenyl-polyethylene glycol, reaction mass of 5-chloro-2-methyl-2H-isothiazol-3-one and 2-methyl-2H-isothiazol-3-one (3:1))
国連分類	9
副次危険性	
容器等級	III
環境有害物質	該当

15. 適用法令

国内法規

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) 皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項) 有害性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	その他の有害物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
航空法	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)	
第1種-管理番号.	408

化学名	毒物及び劇物取締法	労働安全衛生法 名称等通知物質 (法第57条の2) (発行日現在)	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)
ポリ オキシエチレンオクチルフェニルエーテル 9036-19-5 (= <1)	-	該当	該当

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する 情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019

発行日 2026-6-05

版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Calibrator Diluent RD6-10
製品コード	895468

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

皮膚感作性

区分1

水生環境有害性(急性)

区分3

水生環境有害性(慢性)

区分3

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

- H317 - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- H402 - 水生生物に有害
- H412 - 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き(安全対策)

- ・粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレートの吸入を避けること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出してはいけません。
- ・保護手袋を着用すること。
- ・環境に放出しないこと。

注意書き(応急措置)

- ・皮膚に付着した場合、多量の水と洗剤で洗浄する。
- ・皮膚に炎症や発疹が起きた場合、医師の治療を受けてください。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き(保管)

- ・非該当

注意書き(廃棄)

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
アジ化ナトリウム	=<0.1	65.00	(1)-482	*	26628-22-8
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	=<0.1	N/A	(5)-5235,(9)-378	*	55965-84-9

安衛法官報公示番号について 表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項: 危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。 局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。 個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

強酸化剤

8. ばく 露防止及び保護措置**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近く に安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく 露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
アジ化ナトリウム 26628-22-8	N/A	N/A	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

保護具**呼吸器用保護具**

保護マスク

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き 保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態****色**

無色

性状

液体

臭い

データなし

融点／凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

99.97 °C

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

7.4 - 7.5

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタン/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.01

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性	データなし
化学的安定性	推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	
通常の処理ではなし。	
避けるべき条件	
高温と直射日光	
混触危険物質	
強酸化剤	
危険有害な分解生成物	
利用可能な情報はない	

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	= 53 mg/kg (Rat)	= 87.12 mg/kg (Rabbit)	N/A

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入-毒性-ミスト)分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

データなし

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。
2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンと5-クロロ-2-メチル-1,2-チアゾール-3(2H)-オンの混合物	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性

利用可能な情報はない

生体蓄積性

利用可能な情報はない

土壌中の移動性

利用可能な情報はない

オゾン層への有害性

利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

規制されていない。

国連番号

-

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質

非該当

IMDG(海上)

規制されていない。

国連番号

-

品名

国連分類

副次危険性

容器等級

海洋汚染物質

非該当

MARPOL73/78やIBCコードに則 利用可能な情報はない

ったバルクの輸送	
IATA(航空)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規	
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
(令和5年4月1日より)	

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等	NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop IATA危険物規則書 RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報 有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック 化学大辞典 共立出版 等
------------------	---

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する 情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019

発行日 2026-6-05

版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Substrate
製品コード	895884

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物質又は混合物の分類
GHS分類基準に該当しない。

絵表示
注意喚起語 なし

危険有害性情報
GHS分類基準に該当しない。

注意書き-(安全対策)
・非該当
注意書き-(応急措置)
・非該当
注意書き-(保管)
・非該当
注意書き-(廃棄)
・非該当

その他
ほかの危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物 混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
精製白糖	90-100	342.29	N/A	8-(4)-345	57-50-1

安衛法官報公示番号について 表中の*は公表化学物質を表します。

成分特記事項: 本製品は、危険有害性がある化学物質を濃度1%以上含有していません。さらに、既知の発がん性物質等を濃度0.1%以上含有していません。

4. 応急措置

吸入した場合
新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合
すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO₂)、泡、粉末消火剤、砂

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い**技術的対策**

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

安全な容器包装材料

メーカーから供給された容器

混触禁止物質

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
精製白糖 57-50-1	N/A	N/A	TWA: 10 mg/m ³

保護具

呼吸器用保護具

保護マスク

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体 の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

色

白色

性状

粉末

臭い

無臭またはわずかに特異臭

融点／凝固点

185.5 °C

沸点又は初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

上限:

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタン-11水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.58

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性

データなし

化学的安定性

推奨保管条件下で安定。

危険有害反応可能性

通常の処理ではなし。

避けるべき条件

高温と直射日光

混触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

利用可能な情報はない

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
精製白糖	= 29700 mg/kg (Rat)	N/A	N/A

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

データなし

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
精製白糖	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性

利用可能な情報はない

生体蓄積性

利用可能な情報はない

土壌中の移動性

利用可能な情報はない

オゾン層への有害性

利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意**ADR/RID(陸上)**

規制されていない。

国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
IMDG(海上)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない
IATA(航空)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規	
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
(令和5年4月1日より)	

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等	NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop IATA危険物規則書 RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報 有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック 化学大辞典 共立出版 等
------------------	---

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019
発行日 2026-6-05
版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Substrate Diluent
製品コード	895885

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物質又は混合物の分類
発がん性
生殖毒性

区分2
区分2

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H351 - 発がんのおそれの疑い
H361 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

注意書き-(安全対策)

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全予防措置を読み、理解するまでは取り扱わないこと。
- ・個人用保護具を着用すること。

注意書き-(応急措置)

- ・ばく露、もしくはその恐れがある場合、医師の治療を受けること。

注意書き-(保管)

- ・施錠して保管すること。

注意書き-(廃棄)

- ・内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
エタノール	1-3	46.06	(2)-202	*	64-17-5
ジエタノールアミン	=<1	105.13	(2)-354,(2)-302	*	111-42-2

アジ化ナトリウム	=<0.1	65.00	(1)-482	*	26628-22-8
----------	-------	-------	---------	---	------------

安衛法官報公示番号について 表中の*は公表化学物質を表します。

成分特記事項: 危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

現場状況と周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はなし

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はなし

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はなし

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

個人用保護具を着用すること。皮膚、眼、衣服との接触を避ける。

保管**安全な保管条件****保管条件****安全な容器包装材料****混触禁止物質**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

メーカーから供給された容器

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
エタノール 64-17-5	N/A	N/A	STEL: 1000 ppm
ジエタノールアミン 111-42-2	N/A	N/A	TWA: 1 mg/m ³ inhalable fraction and vapor Skin
アジ化ナトリウム 26628-22-8	N/A	N/A	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

化学名	厚生労働大臣が定める濃度基準値 (8時間)	厚生労働大臣が定める濃度基準値 (短時間)
ジエタノールアミン 111-42-2	1 mg/m ³	N/A

保護具**呼吸器用保護具****手の保護具****眼の保護具****皮膚及び身体の保護具**

保護マスク

化学防護手袋 (JIS T 8116)

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態****色****性状****臭い****融点／凝固点****沸点又は初留点及び沸騰範囲****可燃性****蒸発速度****燃焼性(固体、ガス)****爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界****上限:****下限:****引火点****自然発火点****分解温度****pH****粘度(粘性率)****動粘性率****溶解度****n-オクタン/水分配係数**

無色

液体

無臭またはわずかに特異臭

データなし

99.97 °C

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

蒸気圧
密度及び／又は相対密度
相対ガス密度
粒子特性

データなし
1.01
データなし
データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性
化学的安定性
危険有害反応可能性
通常の処理ではなし。
避けるべき条件
高温と直射日光
混触危険物質
強酸化剤
危険有害な分解生成物
利用可能な情報はない

データなし
推奨保管条件下で安定。

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
エタノール	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
エタノール	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

呼吸器感受性又は皮膚感受性

化学名	呼吸器又は皮膚感受性分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

化学名	NTP	IARC	米国産業衛生専門家 会議(ACGIH)	日本産業衛生学会
エタノール	Known	N/A	A3	N/A

64-17-5				
ジエタノールアミン 111-42-2	N/A	Group 2B	A3	Group 2B

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
エタノール	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

データなし

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
エタノール	製造者情報による。	製造者情報による。
ジエタノールアミン	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性

利用可能な情報はない

生体蓄積性

利用可能な情報はない

土壌中の移動性

利用可能な情報はない

オゾン層への有害性

利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意**残余廃棄物**

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意**ADR/RID(陸上)**

国連番号

UN1170

品名

エタノール溶液

国連分類

3

副次危険性

容器等級

III

海洋汚染物質

非該当

IMDG(海上)

国連番号

UN1170

品名

エタノール溶液

国連分類

3

副次危険性

容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない
IATA(航空)	
国連番号	UN1170
品名	エタノール溶液
国連分類	3
副次危険性	
容器等級	III
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規	
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) 皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項) 引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1) 引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1) 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	
航空法	
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	
(令和5年4月1日より)	
第1種-管理番号.	626

化学名	毒物及び劇物取締法	労働安全衛生法 名称等通知物質 (法第57条の2) (発行日現在)	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)
エタノール 64-17-5 (1-3)	-	該当	-
ジエタノールアミン 111-42-2 (=<1)	-	該当	該当

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の実取扱いを前提としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019

発行日 2026-6-05

版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Amplifier
製品コード	895886

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物質又は混合物の分類
呼吸器感作性

区分1

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H334 - 吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ

注意書き-(安全対策)

- ・ 粉じん、蒸気、ガス、ミスト、フューム、スプレーの吸入を避けること。
- ・ 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。

注意書き-(応急措置)

- ・ 吸入し、呼吸が困難な場合、患者を新鮮な空気のある場所に避難させ、呼吸が楽な姿勢で休息をさせること。
- ・ 呼吸器系の症状がある場合、毒劇物センターもしくは医師に連絡をしてください。

注意書き-(保管)

- ・ 非該当

注意書き-(廃棄)

- ・ 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物

混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
精製白糖	20-30	342.29	N/A	8-(4)-345	57-50-1
アルコールデヒドロゲナーゼ	1-3	N/A	N/A	N/A	9031-72-5

安衛法官報公示番号について

表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項: 危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO₂)、泡、粉末消火剤、砂

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件****安全な容器包装材料****混触禁止物質**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。
メーカーから供給された容器
強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置**設備対策**

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
精製白糖 57-50-1	N/A	N/A	TWA: 10 mg/m ³

保護具**呼吸器用保護具****手の保護具****眼の保護具****皮膚及び身体の保護具**

防じんマスク (JIS T 8151)

化学防護手袋 (JIS T 8116)

側板付き 保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態****色**

白色

性状

粉末

臭い

データなし

融点／凝固点

185.5 °C

沸点又は初留点及び沸騰範囲

データなし

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性 (固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度

データなし

n-オクタン/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び／又は相対密度

1.65

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性及び反応性**安定性****反応性****化学的安定性**

データなし

推奨保管条件下で安定。

危険有害反応可能性

通常の処理ではなし。

避けるべき条件

高温と直射日光
混触危険物質
強酸化剤
危険有害な分解生成物
一酸化炭素 (CO), 二酸化炭素(CO2)

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
精製白糖	= 29700 mg/kg (Rat)	N/A	N/A

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

誤えん有害性

化学名	誤えん有害性分類根拠
精製白糖	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

データなし

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
精製白糖	製造者情報による。	製造者情報による。
アルコールデヒドロゲナーゼ	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性	利用可能な情報はない
生体蓄積性	利用可能な情報はない
土壌中の移動性	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

国連番号	UN2588
品名	農薬(固体、毒性)、n.o.s (Disodium hydrogenorthophosphate)
国連分類	6.1
副次危険性	
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当

IMDG(海上)

国連番号	UN2588
品名	農薬(固体、毒性)、n.o.s (Disodium hydrogenorthophosphate)
国連分類	6.1
副次危険性	
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない

IATA(航空)

国連番号	UN2588
品名	農薬(固体、毒性)、n.o.s (Disodium hydrogenorthophosphate)
国連分類	6.1
副次危険性	
容器等級	III
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	毒物類・毒物(危規則第3 条危険物告示別表第1)
航空法	毒物類・毒物(施行規則第1 9 4 条危険物告示別表第1)
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
(令和5年4月1日より)	

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等

NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の実用を目的としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上

安全データシート

According to JIS Z 7253:2019

発行日 2026-6-05

版 1

1. 化学品及び会社情報

製品名	Amplifier Diluent
製品コード	895887

製造者 供給者	R&D Systems 富士フイルム和光純薬株式会社 大阪市中央区道修町三丁目1番2号 電話:06-6203-3741 FAX番号:06-6203-2029
緊急連絡電話番号	試薬営業本部西日本営業部 06-6203-3741 試薬営業本部東日本営業部 03-3270-8571
推奨用途	試験研究用
使用上の制限	推奨用途以外で使用する場合は専門家への判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分2 腎臓

区分2

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ: 腎臓

注意書き-(安全対策)

- ・ 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

注意書き-(応急措置)

- ・ 気分が悪い場合、医師の治療を受けること。

注意書き-(保管)

- ・ 非該当

注意書き-(廃棄)

- ・ 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他

ほかの危険有害性

情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物 混合物

化学名	重量パーセント	分子量	化審法官報公示番号	安衛法官報公示番号	CAS登録番号
エチレングリコール	5-10	62.07	(2)-230	(2)-230	107-21-1
アジ化ナトリウム	=<0.1	65.00	(1)-482	*	26628-22-8

安衛法官報公示番号について 表中の* は公表化学物質を表します。

成分特記事項: 危険有害性であると考えられる組成物が上記に記載されています。残りの成分は、危険有害物質でないか、または報告可能レベル以下で存在するものです。

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹸と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師もしくは毒物管理センターに連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水スプレー(水噴霧)、二酸化炭素(CO₂)、泡、粉末消火剤、砂

使ってはならない消火剤

利用可能な情報はない

火災時の特有の危険有害性

熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

特有の消火方法

利用可能な情報はない

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

個人用保護具を着用すること。消防士は自給式呼吸器および消火装備を着用する必要がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

回収、中和

利用可能な情報はない

二次災害の防止策

環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

強酸化剤との接触を避ける。局所排気装置を使用すること。

注意事項

容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだ

りに粉塵や蒸気を発生させない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではない。取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

安全取扱注意事項

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。個人用保護具を着用すること。

保管**安全な保管条件****保管条件****安全な容器包装材料****混触禁止物質**

製品ラベル等に記載されている保管条件を確認して下さい。

メーカーから供給された容器

強酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

化学名	日本産業衛生学会 許容濃度	管理濃度 作業環境評価基準	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)
エチレングリコール 107-21-1	N/A	N/A	STEL: 50 ppm vapor fraction STEL: 10 mg/m ³ inhalable particulate matter, aerosol only TWA: 25 ppm vapor fraction
アジ化ナトリウム 26628-22-8	N/A	N/A	Ceiling: 0.29 mg/m ³ Sodium azide Ceiling: 0.11 ppm Hydrazoic acid vapor

化学名	厚生労働大臣が定める濃度基準値 (8時間)	厚生労働大臣が定める濃度基準値 (短時間)
エチレングリコール 107-21-1	10 ppm	50 ppm

保護具**呼吸器用保護具**

保護マスク

手の保護具

化学防護手袋 (JIS T 8116)

眼の保護具

側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)(JIS T 8147)

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣

適切な衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

安衛則の皮膚等障害化学物質等に該当する製品は、厚生労働省のマニュアル等に従い、適切な皮膚障害等防止用保護具をご使用ください。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態**色**

無色

性状

液体

臭い

データなし

融点／凝固点

-13 °C

沸点又は初留点及び沸騰範囲

99.97 °C

可燃性

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性 (固体、ガス)

データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界**上限:**

データなし

下限:

データなし

引火点

111.0 °C

自然発火点

398 °C

分解温度

データなし

pH

データなし

粘度(粘性率)

データなし

動粘性率

データなし

溶解度	データなし
n-オクタノール水分分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.00
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

反応性	データなし
化学的安定性	推奨保管条件下で安定。
危険有害反応可能性	
通常の処理ではなし。	
避けるべき条件	
高温と直射日光	
混触危険物質	
強酸化剤	
危険有害な分解生成物	
利用可能な情報はない	

11. 有害性情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

急性毒性

化学名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
エチレングリコール	= 4700 mg/kg (Rat)	= 10600 mg/kg (Rat)	> 2.5 mg/L (Rat) 6 h

化学名	急性毒性(経口)分類根拠	急性毒性(経皮)分類根拠	急性毒性(吸入-ガス)分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

化学名	急性毒性(吸入-蒸気)分類根拠	急性毒性(吸入-粉塵)分類根拠	急性毒性(吸入毒性-ミスト)分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。	製造者情報による。

皮膚腐食性／皮膚刺激性

化学名	皮膚腐食性/皮膚刺激性分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

化学名	重篤な眼損傷性／刺激性分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

化学名	呼吸器又は皮膚感作性分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

生殖細胞変異原性

化学名	生殖細胞変異原性分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

発がん性

化学名	発がん性分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

生殖毒性

化学名	生殖毒性分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

化学名	特定標的臓器毒性(単回ばく露)分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
化学名	特定標的臓器毒性(反復ばく露)分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。
誤えん有害性	
化学名	誤えん有害性分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。

12. 環境影響情報

*NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

生態毒性

化学名	藻類/水生植物	魚	甲殻類
エチレングリコール	EC50: 6500 - 13000mg/L (96h, <i>Pseudokirchneriella subcapitata</i>)	LC50: =41000mg/L (96h, <i>Oncorhynchus mykiss</i>) LC50: 14 - 18mL/L (96h, <i>Oncorhynchus mykiss</i>) LC50: =27540mg/L (96h, <i>Lepomis macrochirus</i>) LC50: =40761mg/L (96h, <i>Oncorhynchus mykiss</i>) LC50: 40000 - 60000mg/L (96h, <i>Pimephales promelas</i>) LC50: =16000mg/L (96h, <i>Poecilia reticulata</i>)	EC50: =46300mg/L (48h, <i>Daphnia magna</i>)

その他のデータ

化学名	水生環境有害性 短期 (急性) 分類根拠	水生環境有害性 長期 (慢性) 分類根拠
エチレングリコール	製造者情報による。	製造者情報による。
アジ化ナトリウム	製造者情報による。	製造者情報による。

残留性・分解性
生体蓄積性
土壌中の移動性
オゾン層への有害性

利用可能な情報はない
利用可能な情報はない
利用可能な情報はない
利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上) 規制されていない。
国連番号 -
品名
国連分類
副次危険性
容器等級
海洋汚染物質 非該当

IMDG(海上) 規制されていない。
国連番号 -
品名
国連分類
副次危険性

容器等級	
海洋汚染物質	非該当
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送	利用可能な情報はない
IATA(航空)	規制されていない。
国連番号	-
品名	
国連分類	
副次危険性	
容器等級	
環境有害物質	非該当

15. 適用法令

国内法規	
消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2) 皮膚等障害化学物質等(規則 第594条の2 第1項)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)	非該当

化学名	毒物及び劇物取締法	労働安全衛生法 名称等通知物質 (法第57条の2) (発行日現在)	化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) (令和5年4月1日より)
エチレングリコール 107-21-1 (5-10)	-	該当	-

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等 NITE: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構
https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop
IATA危険物規則書
RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances
中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報
有機合成化学辞典(社) 有機合成化学協会 講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

このSDSはJIS Z 7253:2019に準拠しております。記載内容は通常の取扱を対象としたものであって他の物質と組み合わせるなど特殊な取扱いをする場合は使用環境に適した安全対策を実施の上ご利用ください。改訂日における最新の情報に基づいて作成されておりますが、すべての情報を網羅しているものではありませんので新たな情報を入手した場合には追加又は訂正されることがあります。また、安全な取扱い等に関する情報提供を目的としておりますので物性値や危険有害性情報などは製品規格書等とは異なりいかなる保証をなすものではありません。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。

GHS分類はJIS Z 7252:2019に準拠している。*JIS: 日本産業規格

以上